

学位論文申請手続きのマニュアル

博士乙号：論文博士

久留米大学 大学院医学研究科

学論文博士（乙号）の学位論文は、審査から学位記授与まで最短4ヶ月かかります。乙号の学位論文の審査を受けるにあたり、少なくとも主論文1編および参考論文3編の計4編を提出する必要があります。当該年度で退職される教授が指導教授や主査となる場合は、早めに申請手続きを開始してください。

1. 学位申請の条件

久留米大学には5つの大学院研究科があり、医学研究科では、博士（医学、医学バイオ統計学、看護学）、および修士（医科学、看護学）の学位の取得が可能。大学院に行かず研究歴を満たし、その成果を論文としてまとめる事で取得できる博士号のことを「乙号」と呼ぶ（甲号は課程博士、乙号は論文博士）。乙号の申請には次の3つの条件を満たしている必要がある。

- ①久留米大学の教職員であること
- ②必要な研究歴（臨床6年、基礎5年）を満たしていること
- ③外国語試験（英語）に合格していること（有効期限なし、年に2回実施。博士課程満期退学者は退学後5年間は免除される）

2. 論文提出手続き締め切り及び提出先

本提出の前に、下記「3. 提出書類」を準備し、下書き点検を受けること。提出書類の下書き一式準備後、印刷し、主論文・参考論文各1部、経歴書または履歴調書と共に医学部事務部庶務課（教育一号館2階）Tel：0942-31-7527 (ext:3014) 学位担当者へ提出し、清書時の注意点や申請の流れの説明を受けること。なお、主論文が共著（申請者が筆頭著者）の場合は、大学院医学小委員会（毎月初旬に開催）での審議が必要になるため、申請の準備を始める段階で、庶務課学位担当者に申請のスケジュールや提出期限を確認すること。

3. 提出書類一式 【記入例を参考に、PCで作成すること】 ※白紙で提出をお願いいたします。

規程書式	書類名	部数	詳細
様式1	学位申請書（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式2	論文目録（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式3	論文要旨（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式4	履歴書（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
あり	主査及び副主査推薦書 （HPよりダウンロード）	1	指導教授に主査及び副主査を推薦していただき、下書き点検時に提出下さい。※注意「審査を受けようとする時は、指導教授及び共著者は、主査及び副主査になることができない。」（久留米大学大学院医学研究科学位規則施行細則第7条3項抜粋）
なし	主論文別冊（印刷公表済のもの） PDF可、できればデータで提出	4	印刷公表済の主論文別冊もしくは参考論文別冊（データ可）を申請時に提出できない場合は、ゲラ（校正）刷り、もしくは論文原稿の写しに投稿掲載証明書（accept letter）を添えた形で受け付ける。但し、学位記授与式までに主論文別冊と参考論文別冊未提出の場合、同日学位記を返還していただき、別冊が出来次第、別冊の提出をもって授与されます。
なし	参考論文別冊（" 3編以上） PDF可	各2	
あり	承諾書・誓約書（HPよりダウンロード）	1	学位論文は原則単著論文（著者一人）ですが、「学位申請の取扱いについて（申し合わせ）」（ホームページよりダウンロード可）により共著論文（著者複数名）も学位論文として認められています。その場合、書式をダウンロードし提出してください。共著者が日本人でない場合、英語の承諾書の様式を使用してください（ホームページよりダウンロード可）。
あり	共著論文内容における申請者の役割についての証明（HPよりダウンロード）	1	
—	本学における経歴書 （本学教職員のみ）	1	給与厚生課にて発行。

—	卒業証明書（本学以外の卒業者のみ）	1	卒業した大学から入手してください。
—	乙号外国語試験合格証書（写し）	1	年に2回（10月、2月）実施。この試験に合格しなければ乙号学位申請ができません。博士課程満期退学者は、退学後5年間は試験免除される。
—	審議手数料および審査手数料		医学部券売機にて、支払いを行い、証紙を庶務課学位担当に提出して下さい。金額等の詳細は下記4を参照。
あり	久留米大学機関リポジトリ登録申請・許諾書（HPよりダウンロード）	1	学位申請前に出版社に著作権ポリシーを確認し、博士論文インターネット公表を行うために必要な利用許諾をご自身で得てください。
なし	主論文の電子媒体（PDFファイル）・主論文の著者最終版	1	機関リポジトリ登録用（メールで庶務係学位担当へ送付） Figure・Table等は1つのファイルにして下さい。
あり	審査要旨の結果	1	集談会発表後に庶務課学位担当者へ提出

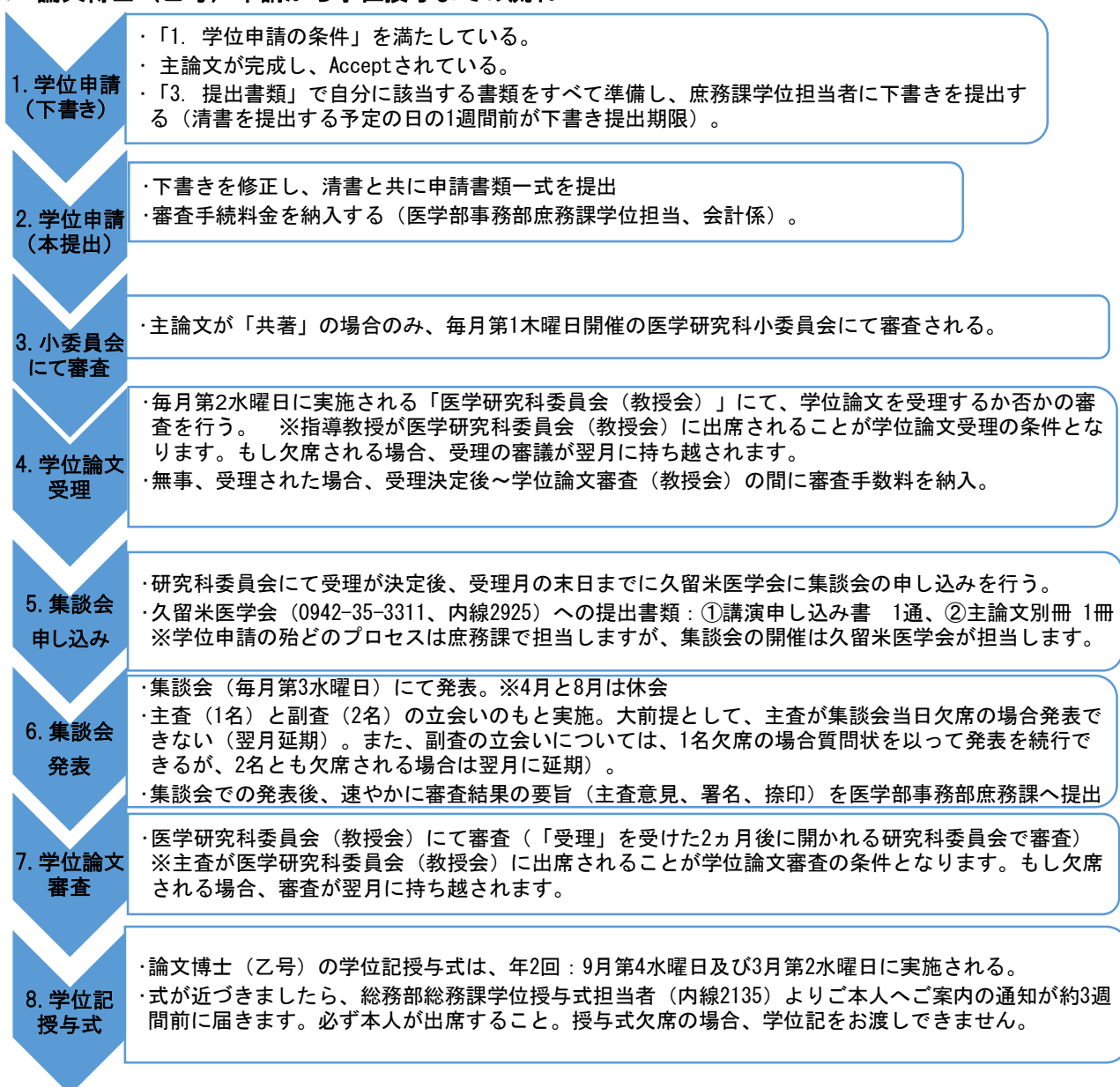
※主論文が、人または動物を対象とした研究の場合や、遺伝子組換えを行った研究の場合には、承認書あるいはそれに準じた書類を提出してください（令和5年3月9日大学院医学研究科委員会承認）。
「学位申請の取扱いについて（申し合わせ）」を参考のこと。

4. 審査手数料及び審査手数料

医学部券売機にて、審査手数料ならびに審査手数料を期限までに納入して下さい。振込を希望の方は下書きチェック時にその旨お伝えください。

- ・審査手数料：50,000円 【納入期限：学位申請書類一式提出時】
- ・審査手数料：本学教職員100,000円、以外の者200,000円【納入期限：集談会発表後5日以内】

5. 論文博士（乙号）申請から学位授与までの流れ



乙様式 1

清書提出日の年月日、手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学学長 ○ ○ ○ ○ 殿

指導教授 ○ ○ ○ ○ 印

氏名 ○ ○ ○ ○ 印

学位申請書

「医学」「医学バイオ統計学」「看護学」の何れかを入力

このたび久留米大学学位規則第13条第2項により博士（ ）の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添え、申請します。

記

- 1. 主論文 ○ 編 ○ 冊 (例：1編1冊)
- 2. 参考論文 ○ 編 ○ 冊 (例：3編3冊)
- 3. 論文目録
- 4. 論文要旨
- 5. 履歴書

医学研究科委員会受理

医学研究科委員会審査

乙様式 4

乙第

空欄

号

ここに記入されたとおりの名前、本籍地、生年月日が学位記に記載されるので、戸籍通り正確に記載すること。例) 高・高、崎・崎、邊・邊 等

履 歴 書

氏 名 ○ ○ ○ ○
(ふりがな) ○○ ○○ ○○ ○○

男
女

何れかを○印で囲む

生年月日 昭和／平成 ○○年○○月○○日 生
本 籍 ○ ○ ○ 県
現 住 所 ○○県○市・郡○○○町・村○○○番地

本学教職員の場合の記入例

学 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○大学○○学部○○学科卒業
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 第○○回医師国家試験合格
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 医師免許証下附せらる (第 ○○○○○○号)

入学・修了などは正式な年月日を記載。国家試験は合格発表日を記載・

研 究 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 久留米大学病院研修医○○において臨床研修許可
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 久留米大学助教医学部○○学講座勤務
兼ねて医学部○○学講座勤務
現在に至る

履歴調書または経歴書の通り記載のこと。(修練員の履歴は記載不要)
※履歴調書: 臨床研究員(庶務課より入手)、
経歴書: 助教、退職者(人事課より入手)

本学教職員以外(特別研究生等)の場合の記入例

学 歴 (本学教職員の場合に準ず)

研 究 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○大学助教○○学部○○学講座勤務
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 上記退職
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 久留米大学医学部○○学講座に
特別研究生として入学
現在に至る

職 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○病院勤務
(現住所において○○医院開業)
現在に至る

上記のとおり相違ありません

令和 年 月 日

清書提出日の年月日、手書き可

必ず自署、要押印

氏 名 ○ ○ ○ ○ ○ 印

主査及び副主査推薦書

清書提出日の年月日、手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学大学院医学研究科
科長 ○ ○ ○ ○ 殿

申請者、 ○ ○ ○ ○ 氏の主査及び副主査を下記のとおり推薦いたします。

主査 ○ ○ ○ ○ _____

副主査 ○ ○ ○ ○ _____

副主査 ○ ○ ○ ○ _____

指導教授に推薦して頂く。
手書き可

清書提出日もしくはそれ以前の年月日、手書き可

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

指導教授名 ○ ○ ○ ○ ④

必ず自署、要押印

注意点：

1. 論文の審査委員は主査1名、副主査2名とする。
2. 指導教授及び共著者は、主査及び副主査になることができない。
3. 主査は本学医学研究科教授であること、副査は本学・学外教授（准教授も可）
4. この推薦書で以って研究科委員会にて審査委員を決定する。

主論文が共著の場合のみ必要

該当する場合、共著者全員から「承諾書・誓約書」に署名をいただく必要があります。(主論文が単著の場合は提出不要)

共著者に外国人が含まれている場合、英語の誓約書で対応してください(サンプルあり)。

承諾書

記入例

手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学大学院医学研究科
科長 ○ ○ ○ ○ 殿

主論文が英文の場合は必ず和訳を入れること。

論文題名

(○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○)
和 訳

略誌名ではなく正式な雑誌名を記載すること。

学術雑誌名

○ ○ ○ ○

第 卷 , 頁 ~ 頁 , 年

上記論文を ○ ○ ○ ○ 氏が久留米大学医学博士の学位申請論文として提出すること及び学位の授与後、インターネット上で公表することを承諾します。

なお、私共当該論文を学位論文として過去において使用したことがなく、また、将来においても使用しないことを誓約します。

申請者氏名 印

共著者氏名 印

共著者氏名は必ず自署のこと。1枚にまとめる必要はなく、共著者が複数の場合は、必要枚数コピーすること。

〃 印

〃 印

〃 印

〃 印

〃 印

〃 印

主論文が共著の場合のみ必要
該当する場合、役割の証明が必要です。
(主論文が単著の場合は提出不要)

共著論文内容における申請者の役割についての証明

申請者氏名 ○ ○ ○ ○

氏名 役割(簡条書き)

○○	○○	○○○○○○○○	、	○○○○	、	○○○○○○○○
○○	○○					
○○	○○					
○○	○○					
○○	○○					
○○	○○					

※ 申請者も含め、共著者全員の役割分担を具体的に記載すること。

(例) 実験課題発案、実験計画立案、実験遂行、実験遂行補助、実験モデル作成、実験指導、実験検体採取・管理、特別な実験器具・研究に必須の試薬提供、結果解析、結果考察、データベース作成、データ保存と管理、論文作成、論文執筆指導、実験統括、等。

(注) 「英文校正」や「最終承認」のみは、共著の役割として不適切です。

※ 英語版の役割証明依頼の文案はウェブサイト上からダウンロード可能。

※ 共著者の氏名表記は、承諾書 誓約書のサインと同じであること。

例)	久留米	太郎	≠	久留米	太朗
	久留米	次郎	≠	久留米	二郎
		高	≠	高	
		崎	≠	崎	

上記の通り相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

指導教授の氏名は必ず自署のこと。

清書提出日もしくはそれ以前の年月日、手書き可

指導教授名 _____ (印)